いわき市内 社会貢献活動

仮設住宅見学コース

仮設住宅訪問 → 浜風商店街訪問 → 被災沿岸部視察

震災の影響で避難生活を余儀なくされている方が暮らす高久仮設住宅を訪問し、当時の心境を聞き、実際に生活している室内を見学させてもらうなど、避難生活の実態を学びました。その後、仮設商店街の「浜風商店街」や津波被害のあった海岸を視察し、被災現場の今を目に焼き付けていました。

▲避難生活の大変さを知る（高久仮設住宅）

▲仮設商店街の人々との交流（浜風商店街）

農業見学コース

JAいわき第一営農経済センター見学 → いわき小名浜菜園株式会社見学

JAいわき第一営農経済センターを訪れ、福島県で生産された農作物へのモニタリング検査の様子を見学しました。生徒たちはその厳しい検査体制に感心しているようでした。いわき小名浜菜園株式会社では、最先端の技術を使用して栽培される生鮮トマトの出荷までの過程を学びました。

▲厳重な体制で行われるモニタリング検査（JAいわき第一営農経済センター）

▲広大な温室内を担当者とともに巡る（いわき小名浜菜園株式会社）

水産見学コース

小名浜機船底曳網漁業協同組合魚市場訪問 → 福島県水産試験場見学

魚市場を訪れ、福島県沖で水揚げされた水産物へのモニタリング検査の流れを学びました。その後、福島県水産試験場に移動し、職員から水産物の安全を確保するための取組みについて説明を受けました。福島県産品に対する風評被害についての説明もあり、生徒たちは真剣に聞き入っていました。

▲実際に使用されている検査機器の見学（小名浜機船底曳網漁業協同組合）

▲水産物への検査体制を詳しく学ぶ（福島県水産試験場）

高校訪問コース

福島県立いわき海星高等学校にて訪問交流会

福島県立いわき海星高等学校を訪れた生徒たちは、訪問校の生徒からいわき市の郷土芸能「じゃんがら念仏踊り」であたたかい歓迎を受けました。その後、校長先生から震災当時の様子や学校周辺の被害状況を聞き、同年代の高校生たちの被災体験に胸を痛めていました。

▲福島県立いわき海星高等学校生徒による「じゃんがら念仏踊り」

コットンプロジェクトコース

いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンター
※オーガニックコットンプロジェクト参加

風評被害に苦しむ農家を支援するためのボランティア「オーガニックコットンプロジェクト」に参加し、綿花畑などで草取りを行いました。夏の日差しが降り注ぐなか、生徒たちは懸命に作業に取組み、被災地復興のためにみんなで力を合わせることのすばらしさを感じていました。

▲手作業での草取り

▲笑顔で作業に励む生徒たち

VOICE ふくしまへメッセージ

岡山県立岡山南高等学校
2学年主任 平松（ひらまつ） 玲子（れいこ） 先生

今回いわき市を訪れるにあたり、福島県から岡山市に避難している方の震災体験を聞いたり、新聞記事を集めたりする事前学習を行いました。しかし、やはり実際に被災地を訪れなければわからないことがたくさんありました。生徒たちには社会貢献活動を通して自分の目で見ること、自分の頭で考えること、自分から行動することの大切さを学んでほしいです。

学校紹介

岡山県立岡山南高等学校
（岡山県岡山市）

商業、国際経済、情報処理、生活創造、服飾デザインの専門分野を学ぶ5つの学科が設置されている学校です。将来の地域社会のリーダーとなる人材育成を目指し、資格取得や部活動などに力を入れています。今回の修学旅行では、関東方面での班別研修に加え、被災地での社会貢献活動と震災学習のため、福島県いわき市を訪れました。